

## 会 議 録

1 会 議 名 学校給食調理業務委託事業再評価委員会 第5回会議

2 議 題  
報告書(案)の取りまとめ

3 開催日時 平成19年11月26日(月)  
13時30分 ~ 15時30分

4 開催場所 小倉北区役所西棟7階 特別会議室

5 出席した者の氏名

(1) 委員

城戸 宏史	北九州市立大学院マネジメント研究科准教授
石松 成子	元九州女子大学教授(管理栄養士)
桑原 智子	福岡県栄養士会北九州支部長(管理栄養士)
津田 恵次郎	北九州市医師会理事(医師)
中川 博子	北九州市PTA協議会副会長
白川 峯生	北九州市小学校校長会(副会長)
岡本 晃昌	北九州市薬剤師会試験検査センター室長(薬剤師)
神代 和幸	保健福祉局保健所食品監視検査課広域指導係長 (食品衛生監視員)
椎木 美恵子	主任学校調理士
懸谷 容美	主任学校調理士

(2) 市側

大庭 清明	教育長(挨拶のみ)
佐藤 弘毅	学務部長
久末 隆彦	学校保健課長
平野 義人	学務部主幹
小西 治子	学校保健課栄養士主査
狩川 祥子	学校保健課職員

6 会議を非公開とした理由

法人に関する情報であって、公にすることにより、当該法人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害する恐れがあるため

7 議事の概要

- (1) 報告書(案)について
- (2) 報告書の公表について
- (3) その他
- (4) 教育長挨拶

(1) 報告書(案)について

《事務局説明》

- 1 再評価の目的
- 2 学校給食の概要
- 3 民間委託実施までの経緯
- 4 民間委託の進捗状況等
- 5 民間委託の仕組み

委員長

1～5までで意見はないか。なければ続けて説明を行う。

《事務局説明》

- 6 評価方法と評価項目

委員長

ポイントは民間委託の是非を問うものではなく、あくまで「絶対評価」を行うという事である。評価に関わる資料は「資料編」に入っているということである。よろしいか。

事務局

はい。

《事務局説明》

- 7 評価項目別の評価
- (1) 給食の完成度

委員長

ポイントは最後の評価の所だと思うが、美味しい給食は十分に提供できている。但し書きで、「年間を通じて1学期に事故が発生している」とある。それについては、検討しなければならない」とある。「努力が必要」等の但し書きをすることでいかがだろうか。今まで議論したことをコンパクトにまとめていただいているということである。よろしいか。

## 《事務局説明》

### 7 評価項目別の評価

#### (2) 衛生管理

##### 委員長

衛生管理のところは、踏み込んだ形で、新規配置の従事者は定着に時間がかかることや、給排気設備の不備、トイレの手洗い設備のことなども盛り込んでいただいているが、評価とすれば、「日々安全で安心な給食が児童に提供できている」とある。

ここも但し書きで「新規の従事者が上手くスムーズに衛生管理を習得できるよう研修の充実を期待する必要がある。」とまとめていただいているが、衛生管理という非常に重要なところなので、他に何かないか。

##### 委員

「イ.各民間委託校の栄養教諭・学校栄養職員の意見」のところで、「下処理、調理に使う器具と数の理解について改善を必要とするとの指摘もあった。」とあるが、この「理解について」とはどういう意味か。

##### 事務局

資料編14ページに「学校給食調理業務民間委託校 調理業務・衛生管理の状況」で、各栄養職員等の意見を × で表しているが、ここに「下処理、調理に使う器具と数が理解できる」というチェックポイントがあるので、そのまま引用した。

##### 委員

予備知識がないと分からない。

##### 委員

最後にカッコ書きにして、「資料編の何ページ」と参照を入れたほうが分かりやすいのではないか。

##### 委員長

一応、資料がついているので、「器具等について改善」か「器具の理解について改善が必要」という書き方でよろしいのではないか。あくまで、勘違いされないための配慮が必要。衛生管理については、割と踏み込んだ感じがする。

《事務局説明》

7 評価項目別の評価

(3) 従事者の管理体制

委員長

こちらはかなり書き込んでいただいているが、特に年度途中の従事者が交代した際の研修体制については指摘するとともに、評価のところでも検討の必要を謳っている。

全体的な評価としては、調理業務の安定性に配慮した配置は行われているが、栄養士は一生懸命だが、従事者がよく変わるのはいかがでしょうかと思う。

民間委託の新設に伴って従事者の育成が図られており、パートから業務総括責任者になる人も出てきているし、則松小学校のようにレベルの上がっているところもある。しかし、その一方で交替の多いところについては、指摘をしている。こういった評価だが、ここまで書いていただければ十分かと思う。

《事務局説明》

7 評価項目別の評価

(4) 教育活動との連携

委員長

ここは、但し書きはない。良好であるとの評価でよろしいか。

《事務局説明》

7 評価項目別の評価

(5) 経費の削減

委員

経費の削減の評価のところ「十分な効果が出ている。」とあるが、十分な効果とは何か目的があったのか。「何パーセント削減したい」など、目標があったのか。

事務局

具体的なものはないが、1校あたり1千万円の削減という事で十分ではないかと思いがり入れている。

委員

最初に目標額があって、それを上回っているのであれば十分という言葉は使

いやすが、そうでない場合に十分というのは理屈として弱い。1校1千万円と言うのは十分な効果だと思うが。

委員

これからを考えた時に、「もう十分な効果が出ているのだったら、これ以上頑張らなくてもいい」とか捉えられかねない。「十分」という言葉には、もう少し柔らかく弾力性があった方がいい。

委員

目標は無かったのか。

事務局

例えば、全国的に見て直営と民間では人件費で1.7倍の差があるなどが出ているくらいで、「北九州市はここまで目指す」などは無かった。

委員

民間の場合の人件費は分らないのか。

事務局

個別に従事者にいくら支払われているか等は分らない。

委員

時給は分らないのか。

事務局

それも正式には分かっていない。あくまで契約金額の比較しかない。

委員

年間で3億6千万円の削減効果は、確かに大きい数字なのは間違いないので、「削減効果は出ている」と書くこと自体は全く問題ない。

委員

「資料編」の「学校給食調理業務の民間委託化に伴う経費削減効果」について、今まで気づけなかったが、削減効果の結果だけが出ている。

委託前の直営校の人件費に対して何パーセント削減したか、パーセンテージがあった方がいいかもしれない。10億円の中の1千万は大した事はないが、1億円の1千万だと10パーセントになる。十分とは言わないまでもパーセンテージがあった方がいい。

また、評価の書き方だが、「民間委託の目的である経費の削減については、効

果が出ている」と一度言いきった方がいい。言い切った上で、「ただし契約金額が多少上昇傾向にあるので、今後とも契約金額の動向を注視していく必要がある。」とした方がいい。

効果が出ている事については異論はないと思う。それが十分かどうかは委員によっても異なるので、「十分な」というのは外した方がいい。今の段階では絶対評価として削減効果は出ている。そういった形で事務局の方で整理し直してもらった方がいい。

#### 委員

数字から言うと、18年度の管理運営費が約45億円。140校あるので、1校あたり、3千万円～4千万円あたりが管理運営費だったと思うが、それが1校あたり1千万円程度でも30%ぐらい削減効果が出ている。「十分な」と言い切ったほうがいいかもしれない。これをむやみに削っていくと質が落ちていくかもしれない。

#### 委員

「十分な」と言ったときに、全然違う2つの意見になってしまう。「これでいい」と「もっとできる」という意見。数字が何パーセント削減されたのかという部分で、今、委員が言っていた30%という数字ができれば、誰が見ても十分な効果といえるので、言い方として難しい。

#### 事務局

パーセンテージを出すのは難しい。前も言ったように、削減効果の出し方は、モデル的な賃金で行っている。管理運営費が45億円は、実態の数字で、調理士の退職金も含めている。その時に退職者が多いと額が跳ね上がる。

できれば表現だけの部分に抑えて、「十分な効果がでている」を、単に「効果が出ている」とし、「今のところ、1校あたり1千万円の効果が出ている」という書き方で留めるようにしたい。

#### 委員

1校あたり1千万円と言ってしまうと、「それは全体の何パーセントですか」となる。計算が難しいとなると、評価のところは「期待した削減効果はでている」という書き方でよいのではないか。あまり効果で出すぎると不安な面もあるので、それを含めて「今後の動向を注視していく必要がある」という事でどうか。

評価の部分ではあまり数字を言わない方がいい。「効果がでている」と言い切った方がいい。

## 《事務局説明》

### 8 評価のまとめ

#### 委員長

経費の削減について「十分な」を削除し、「今後とも積極的に民間委託を進めていくべきと考える」という結論となっている。

#### 委員

ここでは「良い状況が確認できた」としか書かれていないが、個別の評価にも書いてあるように、従事者の交替の問題や研修の問題についてのコメントがあってもよいのではないか。最後のまとめの評価のところで「すべて良かった」というのはふさわしくないのではないか。

#### 委員

経費削減の考え方だが、退職者を補充せずに民間委託をしているが、退職者の後は普通、新規採用者が入る事になると思うが。その比較での経費削減というのはないのか。高い給料と比較するのは附に落ちない。

#### 事務局

高い給料といっても、今の調理士がもらっている給料と比較している訳ではない。生涯賃金ベースでの平均給料で比較しているので、「18歳で入職して60歳まで勤める」という事を前提に、現在は平均750万円の人件費。それと契約金額との比較で経費削減を出している。新規採用当時は、300万円程度の数字になるが、それも年数がたてば上昇していく。

#### 委員

一般には分かりにくい。

#### 委員

退職した後に新規採用をしなかった、となると数字的には更に大きくなると思う。それは事業に対する効果ではなくて、財政支出としての北九州市全体の予算削減効果に入ってしまう。あくまでもここは給食事業でいくら行ってきたか、という事だ。

#### 委員

一般的には総額で見ると思う。例えば45億が40億になっているなど、その部分で見えていくのではないか。個々の入れ替えについての評価はしない。



#### 委員

全体額が分からないので、「本当は今まで40億円かかっていたのが、30億円になりました」というのではなく「1校いくら削減しました。」というのは、確かに分かりづらい。年度計の支出ベースというのは難しいのか。

#### 事務局

退職金も実際の実額が入ってくるので、年度によっては逆に全体額が大きくなる場合もある。それと管理運営費なら建設費などはその時に小学校の建設が多ければ全体額は大きくなる。

その中で人件費も退職金を除いたベースで比較していけば、当然落ちていくと思うが、きちんと比較したものはない。単年度の支出ベースでは比較できない。

#### 委員長

評価のまとめだが、先ほど指摘があった、「最後の評価になると、但し書きがなくなっている」と言うところだが。

#### 委員

こういった時の報告書というのは、今までの事業が順調にいつているかどうか、という事がメインではなく、後の提言が重要。提言の部分で「今後の研修については、こんな風に行った方がいい」などの形で対応策がしっかり入っているの、あまり小さなことを書く必要はない。書いたら、今までの各論の事を1行ずつ全部書かなくてはいけなくなるので、まとめがまとめでなくなる。

評価のまとめという事ならばシンプルな方がいいと思う。その代り提言の部分に今言われたことを入れていただく方が分かりやすいと思う。

#### 委員

基本的には評価のまとめは、これでいいのではないかと思う。各項目の評価は、突っ込んで但し書きをしていただいている。この後提言の部分でもこの手の報告書にしては一步踏み込んだ記述をしているのではないかと思う。

### 《事務局説明》

#### 9 提言

#### 委員

最初の従事者の育成の部分で、教育訓練マニュアルを受託したサイドに整備する様に求めている。今後も民間委託を進めると新規受託者が増えてくる。新規従事者の慣れが遅いなどの問題があるので、統一した教育訓練マニュアルを

提示する方がいいのではないか。

受託サイドに任せるのではなく、内容についてもう少し提示した方がいいのではないか。例えば、特記仕様書みたいな形で、「最低このくらいの研修は行いなさい」など、ある程度明記した方がいいのではないか。

事務局

受託者に関する教育訓練となると、受託者側の責任において行うべきものと思う。現在も特記仕様書の中に「こういった研修を行いなさい」というのは定めている。

書きぶりとしては、「あくまでもこの部分は受託者だろう。」ということを書いた。新規の部分で今言われたような意見もあるので、そういった事を特記仕様書で書いていく事は可能だとは思う。しかし事務局の方でマニュアルなどを作るのは少し違うのではないかと思う。

委員

そこら辺の内容を契約の中である程度示してあればいい。

委員

委託しているので、その都度マニュアルを出すと人材派遣のようになってしまふ。

事務局

課題に上った部分はまだ書き加えていないので、今後書き込んでいく必要があるとは思う。

委員

今回、従事者が途中で変わっているのが分かった。その人達を対象にした研修が、学校も含めて教育委員会に確認できる様にしないといけない。

途中から従事した方の研修がどうなっているか分かりにくいと聞いたので、「従事者の育成」の中できちんと書いていただけたらいいかと思う。

事務局

「従事者の育成」という表題にもしているのですが、これは受託者側が行わなければならないと思っている。個別の評価の中で「研修体制などを検討する必要がある」との指摘がある。その部分は事務局も検討したい。

委員

途中で異動した新規の従事者に対しての事は書きづらいため、言葉で伝えるなり前段でも指摘しているので、この「提言」の所で細かく書かなくてよい。

#### 委員

栄養教諭と学校栄養職員の存在について、「従事者の育成」の所で「重要であることも分かった」と書いているが、「栄養教諭・学校栄養職員の配置方法の見直し」の所では、「専属で配置する必要はない」と矛盾した事を書いていると思うのだが。

#### 委員

私もそう思った。上ではものすごく評価していて、下の方と少し違うような気がした。

#### 事務局

これも前回の会議で、「栄養士の役割が高いという事を何らかの形で入れ込みたい」と言う意見があったので、その意見を反映した。

思いとしては、栄養士が民間委託業務のレベルを高めていっているというのは事実だが、必ずしも専属である必要はないという理屈で、こういった書き方をしている。

#### 委員

率直なところ配置方法の見直しは、人的資源にも限りがあるという事を盛り込むかどうか。それと「専属配置をする必要性は低く」と書いてあるが、「低く」と書いてしまうと、いらなそうと思ってしまう。

「一定の役割を果たし得たので、人的資源の制約も鑑みながら、再配置を検討していく時期にきている。」などにしないと厳しいかと思う。

#### 委員

「全ての学校に配置が必要ではない。」という事ではない。3、4年経っても、ここには必要だという学校もある。この前視察した所のように、きちんと行われている所もあるのだろうが、私たちにとっては、どういった評価で、それを見定めているのかがよく分からないので、ここに書くべきではないと思うのだが。

#### 事務局

但し書きのところで、「運営状況を適切に判断して行うべきである」と入れている。何でもOKという事は教育委員会でも当然考えていない。

栄養士については、「必ずしも専属でないといけないのか」といわれれば、必ずしもそうでなくてもいいのではないか。配置方法の工夫がありうるのではないかと、今の指摘の趣旨も踏まえて考えたいと思う。

趣旨としては決して栄養職員の必要性が低いと言っているわけではなく、必ずしも専属にするかどうかという部分について、考える余地があるのではない

かと考えている。

委員

この前の議論では、今後ずっと民間を増やしていったら、栄養士が足りなくなるので、足りなくなったら掛け持ちをする事も必要という議論になったと思うのだが。

委員

順調に行っている民間委託校は、専属を置かずに何校かを見ていくように進めていけばいいので、新規の所は専属を置くのかどうかは議論の余地は残る。

委員

特に1学期にトラブルが多いと資料にあるので。

委員

新規委託校の1学期が一番心配。一定期間経つと、視察で見える限りは順調になっているので、専属の栄養士は必要なくなってくるのではないかと。人的資源の制約は言ってしまった方がいいと思う。下手に書かないでいると、増やせ、という話になると思う。今のスタンスでは増やす事は難しい。

委員

もう少し増やしてもいいのではないかと。

委員

一般的に考えて、すべての学校に一人ずつというのは現実的ではないと思う。コンビニエンスストアと比べてはいけませんが、コンビニだって、ルートマネージャーが10店舗ぐらい見ているので、コンビニみたいにならないまでも、2校か3校は十分可能ではないか。問題がある所は専属というのはありえると思うが。

委員長

ここは「従事者の育成」という事と「栄養教諭・学校栄養職員の配置方法の見直し」というのを項目として立てる、という事についてはよろしいか。

委員

「入札・契約方法の見直し」で「受託業者が業務総括責任者などに能力のある人材を」と書いているが、この「など」とはどういった意味か。

**事務局**

意味としては常勤など、従事者全体でもいいが、主に業務総括責任者という意味で、「など」とつけた。

**委員**

「資格要件を見直すことなど」とはどういう意味か。資格が甘くなるのか。

**委員長**

特定給食施設の調理経験 3 年以上というのを少し緩和してもいいのではないかという話か。

**事務局**

今は特定給食施設 3 年という要件しかない。別に特定給食施設でなくても、北九州市では民間委託を開始して 5 年経っており、市での学校給食の経験というのが一番大きいという思いもある。今の要件を下げずに、何か資格要件の部分で、今後入れられる部分があるのではないかと思う。安易に下げるつもりはない。

**委員**

今の言葉を聞くと、非常に安心するが、言葉が一人歩きした時に、「資格要件を見直すことなど」が、低く捉えられる可能性はないのかと非常に心配だ。

委託になった時に、要件がしっかりしているので、「熟練した方が来るので大丈夫」という思いがあるので、下回って欲しくない。

**委員**

その辺は個別の事象になった時に対応すべきだと思う。

**委員**

最後の再評価の考え方の部分で、「さらに評価委員会を設置し、再評価することが必要である」と書いてあるが、事務局としては何年後という計画はあるのか。

**事務局**

きちんとした形では難しいと思ったので、こういった書き方になった。

**委員**

例えば委託率が平成 25 年で 70%になる。委託率が 50%、半分ぐらいになった時に再度評価するのが普通ではないかと思う。この計算でいくと、だいたい 3 年後ぐらいだと思うが。

#### 事務局

提言いただいた部分を検討して、教育委員会としては栄養職員の配置の見直しも行う事になろうと思うし、入札方法の変更も行う事になろうかとも思う。そこで次を何年と限定すると、変更部分の開始をまだ何年からと決めていないので、ファジーな書き方にしている。

#### 委員

書く文章としてはこれでいいと思う。しかし、大体どの位と考えているのかと思ったので。

#### 委員

いろいろな行政の意見が出ているが、数値的に「何年を目処に」とか「何%をこえた時期に」など、入れた方がいいと思う。事務局が入れづらいのはすごく良く分かる。

しかし間違いなく委託校が増えるのは確実。平成 25 年には 90 校になる。何も書かなければ 25 年まで行わないのか、とる。そうであれば、何なりかの目処を出した方がいいのではないかと思う。

#### 事務局

今回、こういった形で再評価していただいたのを、またすぐというのもあるので、先ほど申し上げたように、栄養教諭の配置の見直し、入札方法の見直しなどを行った上で一定の期間を経て、という事でいかがかとの思いがある。

#### 委員長

5 年を目処に、というのはどうか。オリンピックでも 4 年に 1 回まわってくるので、だいたい 4 年は難しくても、5 年後を目処になどしたらやる気がすごく感じられる。

#### 委員

何で 5 年なのかと問われたら逆に困るだろうし、せめて、「変更された仕組みが定着して何年後の時期を目処に」など書いてはいかがか。あまり縛りたくないのはよくわかるが。

#### 委員

栄養士の力は本当に大きいと思うので、それが専属配置でないと言うだけで、私にとってはかなりの変化だと思う。毎日午前中は給食室に付いていた訳なので。

委員長

他の委員の方はどう思うか。

委員

私は、期限は定めない方がいいと思う。

委員

今回の会議は3年後というのは前回の時に決めていたのか。

事務局

前回モデルの時に「3年～5年後」という事で。

委員

教育委員会では毎年の評価は行うのか。

事務局

少なくとも今後、栄養士の配置のことがあるので、委託校ごとのある程度の評価を教育委員会の中で行っていこうと思っている。

委員

第三者の目が入るかどうかは別としてか。

委員

何回目かの時に、正式なものではないが、栄養士の評価があった。そういった形で毎行なっていくという事か。

事務局

それをどうするかはこれからきちんと考える。

委員

あの評価は今度始めて行ったのか。今までは行っていなかったのか。

事務局

書類としての調査は行っていなかった。

委員

再評価は、直営と民間の比率が入れ替わるあたりに行って欲しいが、そうなると2年後ぐらいになる。

委員

それもいかなものかと思う。

委員

よくこういった文章にあるが、「必要と認められる時」、「教育委員会が必要と認める時」などの書き方でもいいと思う。必要か、そうでないかは我々には分からないので。

事務局

必要と認めるかどうかは、変更された仕組みがある程度定着してきた時期かと思う。事務局としては何年か後という切り方よりは、仕組みの変更があって、それが機能しているかどうか、という視点が入れられれば良い。

委員

なぜ数字にこだわるかと言うと、それを書いているも行わない所が結構多い。なので、目処ぐらいは書いた方がいいのではないかと思う。

委員

今回の再評価委員会も 3、4 年という事を言っていたが、4 年目にやっとこの会議が開かれた。

委員

私たちは早めに評価をして欲しいと、問題提議をしていたが、やっと 4 年目という事で、モデル校からすると、6 年になる。そういった意味で、年数か、もしくは委託率かで、何か歯止めとして欲しいと思う。

委員

繰り返したが、4 年で 30 校。これからの激動を考えたら、大量に退職するし、配置、その他制度が変わるという事は大きいと思う。

委員

仕組みが変わって一定年度たたないと、評価しても仕方がない。それはその通りだと思う。そうであれば、「仕組み変更後、3、4 年を目処になどにして」など書いてはいかがか。大きな問題なのか、小さな問題なのかよく分からないが、仕組みがいつ変わるかも分からないので、単純に「何年後」はいらぬと思う。

これは多数決で決める話ではないので、諸事情はあると思うが、もう一度事務局で、何が一番妥当な線かを考えてもらった方がいい。



委員

期限とか何%とかは書かない方がいいと思う。

委員

定着という言葉も、なんとなく「波風がたたなくてももうまくいったらします」みたいな感じに受け止められるので、何か他の言い方はないか。

委員長

最終的には「再評価する事は必要である」と言いきっている。そういった意味では行う意思がはっきり出ている。提言はこの5本柱でいいか。

委員

「学校給食の今後のあり方」のところには直営校の果たすべき役割も十分に書いてある。今回の提言としては、いいのではないか。

委員長

ここも細かく書こうと思えば色々あるかと思うが、「直営校の役割も含めて検討すべきである」というのは重い言葉である。これでよいか。

経費の削減の評価の部分と、再評価の考え方のところ、時期をどうするかという事もあるが、もう一度事務局に一任して再整理をしてもらおうと思う。今回が最終の委員会なので、私が責任をもって行うので、委員長預かりという事でよろしいか。それから教育長への報告というのはどうするのか。

事務局

教育長に最終的な報告書を委員長から渡していただくことを考えている。